

いはらき



アイちゃん

保育通信

No. 110



茨城県保育協議会／茨城県民間保
育協議会／茨城県社会福祉協議会

目 次

県 保 協

特集 座談会 ― 保育を語る… ―

新人保育士編 PART Ⅲ	1
ブロック活動報告.....	4
平成26年度研修会.....	6
老舗保育園紹介.....	10
新設保育園紹介.....	12
みんなの広場.....	14

茨城県保育協議会ホームページ <http://www.hokyo-ibaraki.jp/>



〈表紙カット 元三和保育園職員 猪瀬愛子〉

特集

座談会

保育を語る…

PART III

新人保育士編

108号、109号と2号にわたり、新人保育士の先生方4名のお話を掲載させていただきました。今回はいよいよ最終回のPART IIIになります。同じ立場の新人保育士さんへのエールを込めて先生方の参加しての感想も併せて掲載させていただきます。

司会 鈴木先生は、高萩から鉾田の保育園に就職した経緯を教えてください。

鈴木 就活の際、公立で県内に絞りました。住んでいた高萩の自然豊かな環境に近いところや価値観が同じ場所を探し、親にも相談し鉾田に就職を決めました。

司会 保育通信は読んでいただいていたか。

全員 はい、読みました。

司会 加藤木先生、座談会の男性保育士編はどうでしたか。

加藤木 共感できるところがたくさんありました。

司会 いろいろお話いただきましたが、自分を信じるのが大事だと思います。苦手なものがあっても、頼ってよい、保育士であっても、オーマイティーでなくても良いと思います。今日、座談会に園から出させていただいている皆さんは、園側も自信を持って送り出している方々であると思います。この座談会の記事を読んだ方が、自分も頑張ろうと思ってもらえれば嬉しいです、それ

がねらいです。

司会 その他、話してみたい、聞いてみたいということがありましたら、遠慮なくお話し下さい。

加藤木 現在縦割り保育を行っていますが、他はどうですか。

村田 ゆり、ばら、すみれの三〜五歳児を縦割りにして、活動を保育に取り入れています。散歩の時は外側を歩いて守ってあげるんだ。年少さんは年長さんをみて、まねたり、頑張ったりしています。午睡の時「あつ、もうそろそろ起こしに行く時間」と時計を見て起こしに行ってくれたり、着替えを手伝ってくれたり自主性が育ったように思います。

鈴木 異年齢交流を行っています。リトミックをしたり、ホールで一緒に寝る。年長さんがごっこ遊びが上手で、三〜四歳児を招いてくれました。それを覚えてまねて「きく組さんみたいにやりたい」と言われました。運動会で縦割りの競技を入れました。

司会 縦割りは発見がたくさんありますね。自分のお兄さんお姉さんが決まっている。三歳児がすぐくのび



〈先生これなあに〉



〈楽しく指導〉

る。子どもは子ども同士で育ち合える。どういうものを教材として与えるか、話し合いを重ねたが、心配していたよりも子どもの力の大きさを知ることになります。同学年の中では、惑いのある子が異年齢の中では、自分らしさを出すことができるようです。

鈴木 ずっと三歳児と一緒にいて欲しいと思うときがある。五歳児が生き生きとしている場面があります。

司会 一人ひとり手をかけて育てられている。保育士がその責務を背負っている訳です。複数担任で見方が複数あるという安心感もあります。心も身体も丸ごと、命を預かるというのを忘れないで保育にあたって欲しい。三つ子の魂百まで、という大事な時期に関わる大事な仕事であること、子ども達に何を残せるか、やさしさや思いやり等、思ったより地味な仕事ではありますが、頑張つて長く続けて下さい。長く続けていると、卒園児の子どもを見ることができずから、この先生に見てもらえば安心という保育士になってください。

座談会はこれで終わりにしたいと思います。長時間ありがとうございました。



〈やったね。ハイタッチ！〉



〈ハイ、どうぞ〉

参加しての感想

いなほブロック

銚田市立第二保育所

鈴木 千尋



鈴木 千尋 先生

他の保育所（園）の方とじっくりお話できる機会はなかなかないので、とても貴重な時間であったと思います。テーマや質問に対し、うまく言葉にできないことも多く、申し訳なかったのですが、他の方々のお話や意見を聞いて納得したり再認識する部分も多くありました。私にとってとても良い勉強になりました。ありがとうございました。

取手ブロック

取手保育園

山本 瑞希



山本 瑞希 先生

先日は、新人保育士座談会に参加させていただきありがとうございました。他園の新人保育士さんと、ゆつくりお話する機会が今まで無かったので、とても貴重な経験をさせていただきました。

今回の座談会で、社会人としての責任の重さを感じ、保育士として子ども一人ひとりの成長を笑顔で温かく見守っていきたいと改めて思いました。また、初心を思い出して、これから日々頑張っていこうという気持ちを持つことが出来ました。

今後とも、何かとご指導くださいますようお願い申し上げます。

県央ブロック
ミーム保育園

村田 沙也香



村田沙也香 先生

先日は、新人保育士座談会に参加させて頂き、本当に貴重な時間を過ごすことができました。ありがとうございます。

友人以外の他の園の職員と話す機会というのはほとんどなく、とても良い意見を聞くことができました。又、新人とはいっても、私以外、二年以上の経験を持った方達だったので、お話もとても勉強になるものばかりでした。様々な意見を取り入れ、これからの保育に活かせるよう、日々取り組んでいこうと思います。

水戸ブロック
河和田保育所

加藤木 貴之



加藤木貴之 先生

初めての場でとても緊張しましたが、一つひとつ丁寧に話を進めて頂けたので、安心して話をさせて頂くことができました。話し合いの内容は、保育士を目指した理由や、保育の中で気にかけている事など様々でした。初心を思い出し、今の自分の保育を振り返りながら他の先生方の話が聞け、とても有意義な時間を過ごす事ができました。ありがとうございます。



座談会を終えて

今年度の保育通信では、フレッシュな四人の方にご参加のもと、素直な気持ちで意見交換をしていただきました。どなたも子どもへの目線が暖かで、同席した私たち委員も、おだやかな気持ちになりました。

また、保育通信を読まれた方々からも「新人の頃の事を振り返る機会を得た」「世代は違っても保育にたずさわる私達の喜びは変わらないと実感した」などの感想も寄せられました。二十七年齢から大きく変わる保育制度の中で、変ってはいけない、変えてはいけないものを、次の世代の保育界をささえていく保育士達に、しっかりと伝えていかなければと思います。

四人の新人保育士の先生方ありがとうございました。

広報委員会からのお願い

〈次年度掲載予定のブロック〉

	111号（8月）	112号（12月）	113号（3月）
ブロック 便り	鹿嶋神栖 つくば 筑西	土浦 県西 水戸	いしおか いなほ 常総
みんなの ひろば	常総 県央 土浦	取手 つくば 水郡	県北 筑西 水戸

右記のとおり、原稿依頼を予定しておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。尚、原稿には写真を添えていただく事になりますので併せてよろしくお願い致します。

ブロック活動報告

ひたちなかブロック 保育協議会

会長 上野 洋子
(東海村立 村松保育所)

ひたちなかブロックは、ひたちなか市・東海村の二十九施設（公立八施設・民間二十一施設）で構成され会員数は五百六十名です。

様変わりする制度改革に戸惑いながらも、子ども達の健やかな成長を願い、より良い保育を進めていくという基本を忘れずに事業を行ってきました。

施設長部会では、七月に群馬県桐生市の広沢保育園を視察しました。比呂佐和神社の社務所を改築して託児所から始まったということで、境内に位置する園舎は、周辺の里山をも含め自然の恵みに満ちあふれ、それを存分に保育に取り入れていました。四歳児からはカッターを使用し竹で箸や粘土ベラも作るとのこと。様々な活動を子ども達に伝える前に保育士同志で何度も勉強会を行い、指導しているという姿に、見習うも

のがありました。

主任保育士部会では、「職場内のコミュニケーションを円滑にするために」プラスのストロークの実践」と題して、CHR研究所の小山田治子先生の講演会を実施しました。また、新宿せいが保育園への視察も行い、平成二十七年の研究テーマ「保育所（園）全体のチーム力を高めるために主任保育士として出来ること」をまとめていくヒントが得られたように感じました。

保育士部会では、六月に「あそび歌でLet'sコミュニケーション」という題で荒巻シャケ先生に講演を依頼し、保育現場ですぐに役立つ手遊び、触れ合い遊び、遊戯等を教わり、楽しい研修会となりました。

調理員等部会では、十一月にクッキングスクールネモトの根本悦子先生による料理講習会を実施しました。身近な食材を使って手軽に作る方法を学び、調理の合間の話は、子育て世代にぜひ聞かせたいような中身の濃いものだったようです。

保育研究委員会の中では、平成二十七年の発表に向けてアンケート

をとったり、定期的に集まりを持つたりして、研究活動を進めているところ です。

十一月に開催しました合同研修会には、「昔話が語るこどもの成長」という演題で、小澤俊夫先生（指揮者小澤征爾さんのお兄さんです。）をお招きしました。昔話の中には昔の人が体験したり、観察したりした人生や社会のことが「お話」という形になり語り継がれてきたもので、その中には、人生へのメッセージが沢山込められていることを改めて感じました。かけがえのない人生を子ども達が迷いながらも、自ら切り開いていけるよう、心の宝物となる昔話をもっと沢山読んであげたいと思いました。

今後とも会員の資質の向上につながるような活動を、時代や地域のニーズに合わせて計画していきたいと考えています。



「昔話が語るこどもの成長」
小澤俊夫先生

県央ブロック 保育協議会

会長 橋本 洋子
(ひぬま保育園)

県央ブロックは、小美玉市、笠間市、茨城町、大洗町の三十二施設、会員四百十六名で構成され活動しております。

○施設長部会
・代議員会 年二回

・施設長研修

七月十、十一日関東ブロック保育研究大会参加（甲府）

十一月二十七、二十八日関東ブロック保育大会参加（千葉）

講演の他、分科会にも参加し、充実した研修になりました。

○主任保育士部会（年八回）

「こどものよりよい育ちを考える」食を通して」をテーマとし、主任保育士として専門性を高め職員の共通理解を図り、保護者の食に対する意識、関心を高めていくことを目的として、研修を行いました。

十一月二十一日富士見ヶ丘認定こども園視察研修（つくばみらい市）

○保育研究委員会（年九回）

「子どもの心を育てる親子の時間」をテーマとし、茨城女子短期大学の山路純子先生にアドバイスを頂きな

がら、続けて研究を進めていく予定です。

○給食研究部会（年五回）

年二回の調理実習や、「世界の料理を献立に取り入れて紹介しよう」をテーマにレシビ集作りを行ったり、給食の献立に取り入れていきます。

十一月二十日認定こども園はなぶ

さ視察研修（境町）

○保育士視察研修

一月二十三日東京消防庁本所防災センター視察

「もしもの時の防災」という事で消火体験、応急手当体験等を行ってきました。

○全会員を対象とした講演会

六月二十一日「幼稚園、保育園、小学校、中学校における連携」をテーマとし、跡見学園女子大学山口豊一教授をお迎えして講演を行いました。

○親睦会

四地区それぞれに、主任保育士が中心となって、ミニ運動会、コンサート、食事会等を計画し、相互の親睦を深める事ができました。

これから、より良い保育を目指し、会員の研鑽と親睦を目的として、充実したブロック活動に努めたいと思います。



東京消防庁本所防災センター視察・体験

水郡ブロック 保育協議会

会長 増子春江

（はすみ保育園）

水郡ブロックの活動について報告させていただきます。

大子町・常陸大宮市・常陸太田市・那珂市と広範囲にわたる地域で、施設数三十一、会員は約三四八人ほどで構成されています。人口・出生数の減少で、保育園の今後に大きな課題を抱えた地域であると思います。

《施設長部会》

今年度のブロックの各活動内容の

確認。また、視察研修として、昨年に行き続き第二段水郡地区の名所旧跡を訪ね、常陸太田・那珂地区の歴史に触れながら研修を行いました。

《保育士部会》

○保育士研究会（年五回実施）

各園一名が研究委員となり、親睦を図りながら、『気になる子について』のまとめ・発表に向け取り組んでいます。

○保育士研修会

『絵本の選び方について』の講演会や『運動会に向けてのリズム講習』『保育に活かせるシアター作り講習』を行いました。どの研修会も内容が充実していて参加した保育士も熱心に取り組んでいました。

○主任保育士研究会（年四回実施）

研究テーマは、昨年に引き続き『防災マニュアルの見直しについて』『リーダーを中心に研究し発表に向けてラストスパートの状況です。また、今年度の視察研修は耐震性の高い施設という観点から、かしま台保育園の最新設備を見学したり、被害軽減対策についてお話しを伺いました。』

○全体会（年二回実施）

五月に危機管理アドバイザーの岡崎先生をお招きし『保育園における防災対策』の講演を開きました。私達が日頃行っている避難訓練の未熟さを痛感した講習となりました。

九月にはボイストレーニング講師の司先生をお招きし、会話が上手になる発声法を学びました。

一月に茨城県警音楽隊をお呼びし楽しい時間を過ごしました。

《調理員部会》（年四回実施）

工場見学や調理実習を行い、給食献立として子ども達に提供しています。

保育事情が変化していく中で、今後の保育園のあり方を考えながら、各研修会や研究会を实のあるものとし、質の向上を図れるような活動を行っていききたいと思います。



「茨城県警音楽隊のパフォーマンス」

平成二十六年研修会

主任保育士研究協議会 に参加して

第一分科会に参加して

筑西ブロック

しろはと保育園

主任保育士 神 郡 ゆみ子

私の参加した第一分科会二グループでは十七人のメンバーと共にまず自己紹介、分科会を選んだ理由、討議の柱の中で一番討議したい内容、自身のストレス解消方法などを話しながら和やかな雰囲気の中で話し合いがスタートしました。

討議の柱「利用者の個別ニーズに対応するきめ細やかな保育の提供」については、私も含め参加されていた先生方のほとんどが勉強したいと思う内容でした。通勤時間や職種によって保育時間が長い子や、体調不良などでお迎えをお願いしてもなかなか迎えに来られない等々、それぞれに同じような悩みを抱えていました。そんな家庭が増える中、個別ニーズに対応するきめ細やかな保育が求められています。勤務時間表や保育

時間利用届などを提出してもらうなどして、個々の利用時間を把握する事も大切であり、それを保護者にきちんと守ってもらえるように伝えていくことの大切さを実感しました。

また、その子にとっての幸せは何か（親というより園にいる方が幸せな子もいるかもしれない）、ちょっと見方を変える事も必要だという意見も聞かれました。アレルギーの子に對しては、きちんとした検査結果をもとに、担任・調理員との面談、お弁当を持参してもらうなどの対応がとられている園がほとんどでした。

配慮が必要な子どもに對しての細やかな保育提供としては、その子に對して勉強していることが多く、家庭と同じようにしてほしいとの要求も多いようでした。

次に保育の質の向上を図るための自己評価の視点と方法ですが、目標を立てて振り返り、目標は具体的なものが良いとの事。ほとんどの園で振り返りの実践がされていました。

助言の先生からは、
・子育て支援をしながら親支援をしている現状

・親が幸せなら子も幸せになれる
・園で預かってもらえなかったら、その子はどうなるのでしょうか…
・園にいる時間、どんな風に過ごさせてあげたら良いのか

園は人としての土台を築いていく所、小さければ小さいほど愛情をかけて関わってほしいとの言葉をいただき深く胸に刻み終了となりました。

第三分科会に参加して

水郡ブロック

那珂市額田保育所

主任保育士 工 藤 裕 子

近年、保育者の資質の向上が叫ばれている中、私の保育所でも、研修担当職員が二名おり、その職員を中心に職場内研修を行い、一人ひとりの資質の向上をめざしています。しかし、どうしてもマンネリ化傾向になつていと感じることがありました。そこで、職場内研修が充実したものとなるよう、すぐに生かせるものがあればという思いで、第三分科会に参加しました。

討議の柱を中心に話し合いをし、まず、職場内研修の必要性と、具体的にどのようなものを実践していきけばよいのかを考えていきました。始めに研修の取りかかりとして、保育所内での問題点や課題を見つけ出し、

解決していくことの大切さを感じました。その中で必ず計画を立て、実践をし、評価、反省をしていくことが次年度へもつながり、しいてはよりよい保育につながっていくことを感じました。助言者の先生のお話にありました「課題があることが次へのステップにつながり、職員同士が言い合える、人間関係の集団を作る」とが、主任保育士の役割である」ことを再確認しました。

また、職場によつては、職員間の年令差があり難いとの話がありました。若い職員には、「研修」と気負わず、欠けているものから取り組んでいくことで、無理なく研修に取り組めるようになると感じました。例えば、手遊びや絵本を読む研修など、年間を通して保育に生かせるものを取り入れている園からの報告もありました。

次に、研修の課題と工夫という点で、パートや臨時職員など、勤務時間の異なった職員が多い中、研修をする時間の調整が難しいという問題が出てきました。午睡時間や夕方の時間を使ったり、全員での研修にせず、いくつかのグループを作り、グループごとに分けて研修を行うなど、工夫しながら進めている園もありました。

今回の分科会に参加し、職場内研



〈開会式〉

修には様々な方法があり、その園によっていろいろな取り組みをしているという、貴重な話を聞くことが出来て参考になりました。また研修を通して、職員全員が共通理解をし、保育所の目指すもの、理念や目標をきちんと理解し、そこに向かって保育することが大切であると感じました。今後も職員の声に耳を傾けながら、今、何が必要であるのかを見極め、保護者に子どもを安心して預けてもらえるような保育所、そして職員の資質向上につながるような、職場内研修を取り入れていきたいと思っています。

分科会に参加して

いなほブロック

とりのす保育園

主任保育士 佐々木 愛

当初「職場内研修とは、どんな事をすればいいのだろうか？」と取り組むことを決めた時点で様々な疑問が生れました。

あれから数年、とりのす保育園では、保育士が学びたい事を中心に積極的に研修を取り入れています。

救急法やAEDの使い方、病気に ついての知識を得たり、栄養士を交えた食育講座、園内の危機管理を話



〈熱の入る分科会〉

し合うなど、年度ごとに学びたいアンケートをとることで、内容の傾向が変わったり、引き続き学びたい要望があれば、繰り返し行うようにしています。

現在、その取り組みが実践できているのは、数年前、職場内研修をテーマにした分科会に参加したことで他園の事例を参考にさせていたからこそ、様々な意見を聞くことができたからです。

そして今回、参加した分科会を決める際、新たな発見や工夫、他園の取り組みを聞きたいと思い「保育士の資質の向上を図る」職場内研修の充実による職員の資質向上というテーマを選択しました。

興味深い内容として「セラブレイ」や「リズムなわとび」という取り組みを聞きました。体を動かし目的に向かうことで、職員間のコミュニケーションがとれたという話も聞けたので、もっと自由な発想で設定し、研修に楽しく前向きな気持ちで取り組めるようにすることも大切だと感じました。

他に職員全員が共通理解することの難しさや、研修時間のとり方など各園によって悩みや課題があることを知り、意見交換することができました。

最後に助言者の先生から、自分自

身が成長しようという気持ちで取り組み「子どものための研修」であることを主題において欲しいというお話がありました。

すべては、子ども達の健康や成長、未来につながることを大きな目的として、より良い研修となるよう創意工夫し保育士の資質向上に取り組んでいきたいと思っています。



〈助言者を囲んで熱心に〉



保育研究発表会

平成二十七年二月十三日

茨城県立県民文化センター

小ホール

保育研究発表会に参加して

いなほブロック

鉾田市立第二保育園

保育士 田山 真由美

初めて保育研究発表会に、参加させていただきました。開会の清水会長のお話の中に「研究発表は、終点ではなくスタートである」という言葉がとても印象に残りました。今日学んだことを、明日の保育へつなげていくことの大切さを改めて感じながら、各ブロックの発表が始まりました。

各ブロックの発表時間は、十五分前後で話をされていました。発表会資料には二年間積み重ねた研究内容が、何ページにもわたって掲載されています。グラフや事例の書き方も各ブロックで工夫されていて、こんなまとめ方もあるんだと見入ってしまいました。今年の研究発表では運動遊びや体力をテーマにしているところが多くありました。運動遊びは、

体力がついたりバランスが良くなったりするだけでなく、心の成長にもつながることを、改めて知る事ができました。

現在、私は三歳児クラスの担任をしています。子ども達は、体を動かすことが大好きです。特に戸外での活動が好きで「お外行く?」と戸外で遊ぶことを楽しみにしています。「むつくりくまさん」の鬼ごっこが大好きで、「先生、むつくりくまさんやろう」と子ども達から誘いがあり、一緒に遊んでいます。

体を動かして遊んでいる子ども達の表情は、とても生き生きとして輝いています。そんな子ども達を見ていると、いくつになっても、子ども達と一緒に、思いきり体を動かして遊べる保育者でありたいなあと感じます。

今回の研究発表会に参加して、保育者の存在の大きさを再確認することができました。常に保育者は、子ども達に寄り添いながら過ごしていかなければならないと、改めて感じました。

保育研究発表会に参加することができ、日々の保育を振り返るきっかけとなる貴重な時間をいただきました。忙しさの中でも振り返る・反省することの大切さを痛感しました。今回学んだことを、日々の保育に生

かし、子ども達と一緒に過ごしていければと思っています。



〈発表の様子〉



〈開会式にて〉

保育研究発表会に参加して

常総ブロック

常総市水海道第四保育所

保育士 倉持 康子

私は、保育研究発表会を視聴する側として参加させて頂きました。初めて視聴させて頂き、改めて自分の保育を振り返ることができました。

各ブロックの皆さんが、二年に渡る研究を行い、アンケートをまとめたり、発表の準備をしたりと、普段の保育も行う中で大変な事だったと思います。各保育所で多くの協力を得ることが出来た上での今回の発表の日を迎えた事を実感しました。

私自身、日々の保育・クラス運営の中で、子どもに寄り添い、理解しているものと思っていました。しかし、研究発表会に参加してみると、運動遊びを保護者に伝えていくことや、よい身体づくりの一つひとつをもっと丁寧に行うことで、子どもは思った以上に伸びていくのではないかと感じました。特に気になったのは、取手ブロックで行った、集中心力テストです。運動遊びをすることでは集中心力が高まり、テスト結果に大きな違いが出ていました。戸外で思う存分身体を動かす機会が減っている子ども達に対し、「子ども達自身が

体を動かすことを楽しむ」保育を実践していきたいと思いました。

又、近年気になる子が増えている事に対し、親の気持ちに寄り添って、その子の為に何をしたらいいのかを、親と一緒に考えられる関係を築いていくことも大切なことだと感じました。

自分自身の人間性を向上させ、その上で専門性も問われるという事など、保育研究会に参加させて頂き勉強し、大きな収穫となりました。

保育研究発表会に参加して

ひたちなかブロック

つくし学園

保育士 岡 本 厚 子

今回保育研究委員となり、保育研究発表会に参加し、七つのブロックの実践・調査研究の発表を聞かせていただきました。最近の子どもたちを取り巻く環境は、少子化・ライフスタイルの変化やテレビやゲームの普及などにより変化し、体力の低下や相手を思いやる心、コミュニケーションを取る力が減少してきたように感じていました。発表を聞いて改めて、こんな時代だからこそ保育現場での保育の在り方の大切さを痛感

しました。

今回は運動遊びを取り上げた研究が多かったようですが、取手ブロックの「よい身体づくり」運動遊びを通して「」を聞いて、「体力作り」と固く考えず、友だちや保育士と一緒に楽しく身体を動かすことを土台として活動を行うことで、子どもたち同士で身体を使い方を教え合ったり、励まし合ったり、大きい子が小さい子の面倒を見たりという関わりが深まったり、ルールや順番を守って活動することによって、自然と社会性も身につけているというのがとても印象的でした。

また、県北ブロックやいしおかブロックのように、保護者に向けてお便りを発行するというのは、親子のスキンシップが今まで以上に取れるようになったり、保護者の意識が変わってきたりと効果があり、子どもとどう関わっていいか、育てていいか悩んでいる保護者にとって、園と共に成長を喜び合える良いきっかけになると感じました。

日々の保育に忙しい中、研究のテーマを決め、アンケートを取り、実践の記録・まとめと、二年間大変なご苦労があったと思いますが、どの発表もきれいにまとまっています、とてもわかり易く発表を聞いていて、あつという間に時間が流れていまし

た。

集団あそび（鬼ごっこなど）や体育あそびを経験することで、身体だけでなく心も発達することを再認識しましたので、これからの保育で年令に合った遊びを工夫し生かしていきたいと思っています。又、気になる子の対応はとても難しいものがあると感じていますが、子どもや保護者の気持ちに寄り添い信頼関係を築くことが第一であり、園全体での共通理解のもと支援していくことの大切さを知りました。

来年は、ひたちなかブロックの発表の年になります。研究もまだ手探りの状態ですが、今回の研究発表を参考にさせていただいて、他の先生方と協力して研究を深めまとめていきたいと思っています。



〈うしろの正面であれ〉



〈手作りおもちゃで遊ぶ〉

老舗保育園からのメッセージ

時代をつなぐ

保育協議会の老舗といわれる概ね昭和30～40年代に開園し現在に至る園を紹介していきます。

創立の精神をつなぐ

筑西ブロック

社会福祉法人 真壁保育園

園長 長谷川 君子

真壁保育園は、桜川市(旧真壁町)の得生寺(とくしょうじ) 延徳二年(一四九〇年) 開宗の浄土宗(宗祖法然上人・総本山知恩院)の寺院の境内地にある創立昭和七年の保育園です。

真壁保育園の法人名「和順福祉会」の「和順(わじゅん)」は法然上人が、昭和天皇から賜った大諡号(おくりな) から頂いております。

得正寺は、歴代住職が近隣の子弟教育につとめ、学問の寺として親しまれてきました。真壁保育園もその流れをくむものと言えるでしょう。

特に得生寺第二十二世小池智誠師は四十年にわたり数百人の教え子を持ち、その薫陶を受けた人々が各方面にて活躍しました。

昭和七年に第二十三世長谷川良信師は、この伝統の中で当境内に「真壁保育園幼稚園」を設立しました。

同年、師が制定された「真壁保育園幼稚園規則」の前文には、創立の精神が、「寺として、宗教家として為すべき最大の天職は、申すまでもなく、よき魂を育て上げることであります。できる限り、子ども中心の清くして力あるはたらきを進めていきたいと存じます。我らの愛児たちを通して、この町の輝かしい将来を約束したいと思うのであります。」と謳われ、今に引き継がれています。

その後、良信師は大乗仏教精神に基づき青少年教育、社会福祉事業を推進し、「淑徳大学」の創立者となりました。

第二十四世長谷川俊峨師は、終戦後疎開していた文化人を登用して「光明文化学園」を開設、信仰を中心とした総合的文化活動(茶道・華道・箏曲・書道・和洋裁・英語・中国語)を約十年間にわたって展開し、最盛期には学生八百人を擁したと言われています。また、俊峨師は、「真壁保育園幼稚園」をさらに発展させ、児童福祉法制定の翌年昭和二十四年保育所としての認可(当時は俊峨園長個人立としての認可)を受け、定

員七十名の「真壁保育園」を発足させました。

真壁保育園は、昭和五十年には定員二百十名(現在定員二百五十名)となり、昭和五十六年には社会福祉法人設立認可を受け、現在まで多数の卒園児を輩出し、地域の福祉、幼児の教育に貢献しています。



第8回卒園式の様子

保育所の原点を顧みて

稲北ブロック

社会福祉法人 文間保育園

園長 大竹 幸子

文間保育園は静かな農村地域にあります。創立の頃から八十年経った今でも緑豊かな自然に囲まれた保育園です。

文間保育園の原点は幼児施設がそ



はなまつりの様子

れほど普及していなかった昭和九年に先々代住職大竹智海が近隣の子どもたちを寺の本堂内でお預かりした農繁期保育が始まります。純農村地帯の当地では大人は日の出と共に野良（田畑）で働き、子どもたちはその周りで泥んこになって遊んでいました。そんな子どもたちの姿に目を向けたのが智海和尚でした。猫の手も借りたいほどの忙しさの農家の方にとってはどんなに大助かりだったことでしょう。農繁期託児所は智海和尚の熱意のみで数年続けられました。

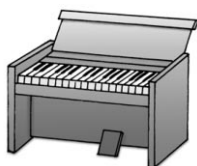
そして、昭和十三年に村の小学校の改築事業が行われた際に、智海和尚の社会福祉への思いが村役場を動かし、小学校の旧校舎の無料払い下げを受け、田舎の小さな村に地域のための常設託児所（隣保館）が出来上がりました。改築工事は地域の方々の奉仕作業で行われたそうです。地域の方のお力添えで開設された保育所はまさしく地域の方の思いに根ざした保育所として年月を重ね、昭和二十四年には県内数園の施設と共に県内では初めて児童福祉施設とし



隣保館に通う子どもたち

て認可を受けました。古い時代の小学校を彷彿させる木造の旧園舎からはたくさんの方が巣立っていかれました。八十歳を過ぎた方々からも故郷のページとして隣保館を懐かしんでいたと思います。平成十一年、たくさんさんの思いが詰まった旧園舎を解体し現在の新園舎となりました。園児たちを取り巻く環境は時代により変化しています。しかし、乳幼児期の育ちに大切なこと、人として生きる土台を育むことは変わりませ

ん。創設者が目指した保育の真髄を顧み、『明るく・正しく・仲良く』の仏の教えを基に、子どもたちの心に故郷を育んでまいりたいと思います。



現在の園舎

新設保育園紹介

よろしくおねがいしま～す

つくばブロック

社会福祉法人 仁川会

富士見ヶ丘認定こども園

園長 川 又 朋 子

東京都心から四十キロ圏に位置するつくばみらい市に、平成二十六年四月、認定こども園を開園しました。地域の方々にも馴染んで頂けるよう、地名と同じ「富士見ヶ丘」を園名としました。空気が澄んでいる時は、富士山がとともきれいに見える場所に位置しており、朝夕子ども達と空を見上げるのが日課となっています。

町にはつくばエクスプレス線が通っていることから、保護者は県外出身の方で、都内勤務の方が多いです。その為核家族が多く、子育て支援事業では、毎日多くの子育て家庭に参加頂いています。また、市内では初めてとなる病後児保育にも取り組んでいます。園内外、さまざまなお子さんが利用している現状です。

園の周辺は新築住宅が建ちならび、時間の経過と共に街並みが変わってくるのも楽しみのひとつとなっています。また、市内で一番大きな公園がすぐそばにあるので、子ども達の遊び場として大活躍しています。

本園は、社会福祉法人 仁川会 御前山保育園の姉妹園ということも

あり、四季折々の野菜やお米など、両園の子ども達の交流も兼ね、苗植え・収穫などの体験を通じ、食の大切さや楽しさを感じてもらっています。朝採りした野菜など実物を飾っておくと、保護者の方々も非常に喜び、子ども達の給食やおやつ内容にも興味関心を持って頂いています。当園では、本物を「見て・触れて・知る」ことを通じ、感性豊かな心とたくましい身体づくりを目指し、職員一同日々精進しております。子ども達の明るい未来が私たちの願いです。



園舎の外観



子ども達のお散歩

県央ブロック

社会福祉法人 照桑福祉会

はとり保育園

園長 村 上 みき子

はじめまして、はとり保育園です。子ども達の元気な声が、明るい園舎に響きわたっています。

はとり保育園は、羽鳥駅の近くにあった公立の羽鳥保育所を民間委託により、小美玉市玉里地区にある照桑福祉会が引き受け、平成二十六年四月より新たに開園いたしました。

羽鳥保育所は定員六十名の羽鳥地区唯一の公立保育所で、四十三年という長い間地域に根ざした保育を展開してきましたが、建物の老朽化等の

諸事情により今回のはとり保育園誕生となりました。

定員六十名ですが、現在七十一名の園児が在籍しています。その内四十名の子とも達と職員六名が、羽鳥保育所から移りました。特に三・四・五歳児は羽鳥保育所からの子ども達なので、環境が変わり、子ども達の生活その他に支障のないように心がけました。しかし、子ども達に順応性には改めて感心し、保育士等大人の方が人的・物的環境に慣れるのに時間を要しました。

まもなく一年が過ぎようとしています。保育士の経験等により培われた保育観はそれぞれ違うので、話し合いを重ね、意志の疎通をはかり、試行錯誤をくり返しなが、子ども達のために全職員一丸となり毎日の保育を行っています。

はとり保育園の周辺はアパートや住宅が建ち始めた新興住宅地でまだまだ自然がいっぱいです。園の西側は遮るものもなく筑波山が一望できます。そのような環境の中に建つ保育園の園舎は、太陽の光が隅々まで降り注ぐ明るく快適な空間を作り出しています。その前には、ひと目で見渡せる園庭が広がっています。その中で体を動かし、五感をフルに使っていろいろな体験をし、今しか出来ない事を一人ひとりが積み上げて

行っています。そして豊かな人間性と生活習慣の基礎をしっかり身につける事が出来るように、子どもの成長発達を確かめながら後押しをしたいと思っています。

照桑福祉会には姉妹園として、玉里保育園・玉里第二保育園があります。創設以来五十五年という長い歴史の中で「子どもの命（一生涯を生き抜く元氣いっばいの生命力）を養う地域の子育ての場」として、子ども達の命を護り育てる保育を行ってきました。その歴史の中で培ってきた保育を基に、はとり保育園としての保育を確立して、地域に根ざした保育園を目指して頑張りたいと思います。

子どもたちの明るい笑顔、元氣な声。それを支える職員の明るい笑顔、元氣な声。のあふれる「はとり保育園」となれるように。

どうぞよろしくお願いいたします。



広々とした園庭



太陽の光がふりそそぐ園舎

～H26年度 絵本ランキング（総合）紹介～

- じゃあじゃあびりびり
- しろくまちゃんのほっとけーき
- ぐりとぐら
- きんぎょがにげた
- いないいないばあ
- おつきさまこんばんは

※上記の本は、保育園でも一度は読んであげたい本、同時にどのご家庭にも一冊は持っていたきたい本ですね。

みんなの広場

会員の皆様からお寄せいただいたコーナーです。

「子どもの心に寄り添って」

ひたちなかブロッック

ひたちなか市立つた保育所

所長 坂本典子

「おはようございます」の元気な挨拶、そして笑顔で始まる保育所の一日。ひたちなか市には五ヶ所の公立保育所があり、その中の一つ、つた保育所は市毛保育所と津田保育所を統合し平成十六年に定員百四十名で開設しました。

それから十一年。広々とした園庭、芝生を敷きつめた中庭で、子ども達はたくさんの友達や保育士と共にのびのびと元気いっぱい過ごしています。

日々大切にしているのは、子どもの心に寄り添った温かみのある保育をすることです。一人ひとりの思いを大切にすることで、自分もまわりの人も大事にできる優しさと思いやりが育ち、心の土台である自己肯定感が育まれることを信じています。また、日々丁寧な保育を心がけると共に季節ごとの行事も大事にしています。行事への取り組みを通して「できた」という喜びや達成感をたくさん味わい成長してほしいと願っています。

近年、保育ニーズは多様化し保育



おにはそと～！



涼しくて気持ちいい！

所の役割りも変わってきています。保育のニーズをきちんと把握できるように努力すると共に、保育の原点をしつかり見つめ、今日までの職員の思いを受け継ぎ、楽しく温かいそして懐かしさを覚える保育所となるよう職員一同明るく元気に保育に進んでいきたいと考えています。

信頼される保育園を目指して

いなほブロッック

社会福祉法人 旭育会 旭保育園

主任保育士 浅倉美和代

当園は、銚田市（旧旭村）にある定員二一〇名、分園三〇名の民間保育園で、昭和三十八年に開設、昭和四十四年に認可を受けました。

当園の保育目標に

「のびのびといきいきと遊べる子」
「自分で考え意欲的に行動する子」
「自分も友達も大切に出来る子」とあるように、自然に囲まれた自慢の広い園庭で、園児、職員共に元気いっぱい走り回り、毎日ののびのびとゆとりのある生活を送っています。

近年は社会情勢の変化により様々な保育ニーズが求められ、女性の就労の増加に伴い特に低年齢児の入園が増えていきます。その為、〇歳～二歳までの新たな保育ニーズに、いつでも対応できるよう、平成二十五年十月より旭保育園分園を開設致しました。

四月末には大洗文化センターにて生活発表会を開催し、子どもたち一人ひとりがスポットライトを浴び大きなステージで堂々と発表する事が出来ました。保護者と保育者で改めて子どもの成長を実感し、共に共感



どんぐり どこかな？

出来た事に発表会の意義を感じました。
これからも、安心して仕事に専念でき信頼される保育園を目指して、日々の保育内容や行事を充実させていきたいと思っています。
また、子育て支援センターや学童保育、一時預かり保育を実施しておりますが、未就園の子ども達へのサービスにもこれまで以上に力を入れ、地域の子育てサポートとしての頼りにされる組織作りに励みたいと思っています。



大好きな先生と一緒に

「英語であそぼう」

いしおかブロック

かすみがうら市立わかぐり保育所

主任保育士 矢口 洋子

わかぐり保育所では、約十年前から年長組を対象に「英語であそぼう」を年六回実施しています。当時の所長が「何か特徴のある保育を…」とつぶやいた言葉がきっかけになり、ECCジュニア指導や幼稚園、小学校の指導資格を持っている加藤先生

に巡り合い、ご協力を得ることができ現在に至っています。

「英語であそぼう」は、広いホールを利用して活動しています。毎回子ども達は朝からワクワクしながら先生を待っています。ホールの扉が開くと一斉に「Good Morning」と元気な声が飛び交い、英語の世界の幕開けです。先生のお名前を「ヨッシー、ヨッシー」と流暢な発音で真似したり、身体の名称を英語で歌ったり、リズムに合わせて体を動かして動作を示す英語を学んだり、ビンゴで遊びながら数や色を覚えたり…。初めて英語に触れる子ども達はもう夢中です。子ども達から「もう一回！」のリクエストがあり大盛り上がりです。毎回新しいプログラムが組まれ、歌ったり、踊ったり、回を重ねるごとに英語を身近に感じるようになります。

「Good Bye」

「ヨッシー、See You」

子ども達はヨッシーが帰る時、次回を楽しみに手を振っています。



楽しい英語教室



what color?

福祉のお仕事 FUKUSHI-JOB SEARCH ホームページが さらに使いやすくリニューアルしました。

事業所向け

福祉のお仕事

検索

<http://www.fukushi-work.jp>

ポイント

- 事業所向けトップページへの入り口が分かりやすくなりました。
- 簡単にマイページ登録ができるようになりました。
- 登録方法の説明をトップページに掲載しました。

「今年度保育士人材確保支援事業の報告」

慢性的な保育士不足に対応すべく、本年度、県子ども家庭課と県保育協議会は連携して潜在保育士の発掘と復職に向けた事業を行っているところです。

個別アンケートにより、復職希望者2,823人を対象に復職支援研修会を本年1月に水戸・土浦にて計4回実施しましたところ110人を上回る受講者がおり、研修会では受講者に対して、「福祉のお仕事・茨城県福祉人材バンク」への求職登録を勧めました。

つきましては、求人側の保育園でも事業者として登録と求人の申し込みが必要になりますので、「福祉のお仕事HP」から登録してください。

なお、茨城県保育協議会のHPからもリンクしておりますのでご利用いただきたいと思います。

編 集 後 記

平成27年年4月から新制度がスタートし、保育界も様々に変化していくと思われます。変化する中で、今まで私たちが培ってきた「子ども一人ひとりに寄り添う保育」「保護者へのきめ細やかな対応」「地域に根ざした関係作り」を大切にしている保育園（所）をいろいろな角度から紹介していきたいと思っております。

今後とも、保育通信を宜しく願います。

W・Y

- こどものとも社は、次の世代をになうこどもとともに進む会社です。
- こどものとも社は、美しく楽しい絵本や童話の普及につくすことを信念としています。
- こどものとも社は、健全なこどもを育てるために、真に保育や教育に役立つ教材教具を厳選し、開発し、良心的に販売する会社です。



(株)こどものとも

(株)こどものとも 茨城営業所
〒305-0074 茨城県つくば市高野台2-12-2
グリーンパレス高野台102
TEL: 029-839-0014 FAX: 029-839-0015
城東・千葉・群馬・埼玉・横浜・秋田営業所

忙しくて、お家で練習できない先生方
一緒に練習しませんか？

高橋ピアノ教室



保育士の先生方に限り、月4回 5,000円(1レッスン30分)

♪ お待ち
しています♪

住所 鉾田市鉾田2243-2
TEL 0291-33-6221

安心・安全を守る！ 驚異の美リフォーム

FRP・スチール・木造・ネットクライマー・プール等
遊具の素材、大小、年式を問わず復元修理いたします
※遊具点検士による無料点検付きです※



木製は特に、メンテナンス一つで
利用年数はガラリと変わります！



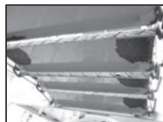
指を引っ掛けて転倒事故の原因に。
跳び箱の張替えもお任せ下さい！



塗料の剥がれや劣化による亀裂なども問題なし
新品同様のレベルまで『復元修理』いたします

どこよりも安く！
★ ☆ 無料見積り 承り中 ☆ ★

(株)総合教育企画
☎ 0280-92-6119
茨城県古河市前林2008-3 fax 0280-92-6102



サビは故障とケガの原因



ガラス継ぎ目が出てませんか？ チェーンの制作もOK！



安全対策施工も行います

毎号、綴込んで保存してください。

各職員に回覧してください。